

岸和田市における地域コミュニティのあり方とその可能性（地域内分権、市民自治、市民主権）
—地区市民協議会のあゆみから—
専門研究員 入江智恵子

はじめに

I. 岸和田における市と地域との関係づくり—機能別協議会組織の設置に注目して

(1) 校区青少年問題協議会の設置 :1951—71(昭和 26—46)年

- はじめに
- 岸和田市町会連合会の発足
- 岸和田市青少年問題協議会の発足と青少年指導員制度
- 青少年指導振興会の指定
- 青少年対策としての地域組織づくり—校区青少年問題協議会の設置
- おわりに

(2) 地区市民協議会の構想と設置 :1971—89(昭和 46—平成元)年

- はじめに
- 城北地区モデル・コミュニティ指定
- 岸和田市のコミュニティづくり構想
- 庁内の推進体制の整備
- 地域との合意
- 校区青少年問題協議会の包括
- おわりに

(3) 地区市民協議会と地区福祉委員会との関係の模索 :1978—2005(昭和 53—平成 17)年

- はじめに
- コミュニティの形成と社会福祉—地区福祉委員会設置の意図
- 小地域ネットワーク活動と地域福祉の推進
- 地区福祉委員会検討委員会の設置
- おわりに

(4) 地区市民協議会の現在 :2005—2010(平成 17—22)年

- はじめに
- 地区市民協議会による地域運営
- 『第二次総合計画』以降の市のコミュニティづくり
- 市と地域との関係—地区市民協議会を中心に
- コミュニティ活動と地区市民協議会
- おわりに

II. 他都市事例からのインプリケーション—今後のコミュニティ支援のあり方

(1) 岸和田市における市と地域との関係

(2) 他都市におけるコミュニティ支援のとりくみ—事例紹介

- 校区コミュニティ協議会を核としたコミュニティ支援—大阪府枚方市
- 自治会組織を核としたコミュニティ支援—大阪府堺市中区

おわりに

- 岸和田市のコミュニティづくりについての参考文献・資料一覧